

# 震復興祈念マラソン 里マラソン 2011

## 被災地の皆さんへエールを送る!～

お見舞いと一日も早い復旧・復興、被災地の皆さんへの応援メッセージを込めて開催しました。

### 中川和浩さん（埼玉県）田鶴浜出身

お互いにゼエ～ゼエ～と息をして走りながらインタビューに答えてくれた中川さん。「この地震で自宅に帰れないまま会社に泊まり、そのまま七尾市に来た。マラソン開催するいろいろな話があったと思うけど、私は地元の人たちの声援で元気をもらいながら、走っている。帰ってからもがんばります」。



大田 敬さん（神奈川県・左）・清水洋平さん（東京都・右）

「一昨日の地震で都内は大混雑していたため、マラソンに出るかどうかが非常に悩んだ」と話す東京工業大学大学院生の大田さんと清水さん。「すさまじい地震でした。どこに行っても長蛇の列。数時間待って、運よく七尾市に行かれる交通手段が見つかり参加しました。関東ではまだ余震が続いていますが、七尾市の皆さんからの温かい声援をもらって、帰ってからもがんばりたいと思います」。



高階くれない太鼓の皆さん

力いっぱい走る選手の姿を見て、元気をもらいました。次は私たちが被災者へ元気をあげる番。日本中の方が被災者の方々の事を思い、心配をし悲しんでいます。どうか強い心を持って今を乗り越えて下さい!辛いでしょうが、いつか七尾のマラソンに参加し、会える日を・・・



羽咋走ろう会の皆さん

スタートのところで出会った羽咋走ろう会の皆さん。代表竹津清仁さんは今回で2回目の参加。「昨年は、吹雪の中走ったけど、今回は最高の天気にも恵まれた。一昨日の地震は想像を絶する地震だったが、被災地の方々は大変な思いをしていると思う。私たちの走り、被災地の人たちに元気を届けたい。がんばれ、東北の皆さん!」。



# 東北地方太平洋沖地震 能登和倉万葉の

## ～ランナー・ボランティア・観客が

本大会は、平成19年能登半島地震の復興のためスタートしました。また、東北地方太平洋沖地震の



### タイガーマスク（金沢市）

マスクをかぶり、衣装も着て汗だくになって走るタイガーマスク。衣装には被災者に向けての熱いメッセージが！

「1人でも多くの命が助かりますように！皆ガンバレ！復興祈念ガンバレ!!」。



### 被災地への一助となる大会に！

今大会は3月11日に発生した『東北地方太平洋沖地震』の影響から、東北などから参加を予定していたランナーのキャンセルが多くあり、不安が残るスタートとなった。しかし、始まってみると被災者への応援メッセージが書かれたTシャツを着て走るランナーや応援ボードを作って応援する観客が多く見られた。これを見て、場所が違って被災地のことを思い、手を取り合っている日本人の心を実感。このマラソンでは多くのメッセージと義援金(760,905円)が集まり、被災地への一助となる大会となった。

### 東北地方太平洋沖地震の義援金・救援物資のご案内

七尾市では、東北地方太平洋沖地震義援金および救援物資の受け付けをしています。

- 取 扱 窓 口 福祉課（義援金） 環境安全課（救援物資）
- 募金箱設置場所 七尾市役所総合窓口、福祉課（ミナ・クル2階）、健康推進課（七尾サンライフプラザ）  
田鶴浜市民センター、中島市民センター、能登島市民センター

※詳しい内容は、広報ななお4月号折り込みチラシをご覧ください。

問 福祉課 ☎53-8463（義援金） 環境安全課 ☎53-8468（救援物資）

（撮影協力）中能登町広報担当 水田達也 宝達志水町広報担当 宮城美智子